

水道事業評価(令和4年度)					担当課	上下水道総務課		
1 事業情報	目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-2 組織能力の向上	事業	6-2-2 人材の育成

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。							
事業目的	重要なライフラインを担う水道事業体として、資格取得や外部研修への参加を奨励するとともに、職員間で知識や技術を共有することにより、各事業に関する専門的な知識等を有する職員を継続的に育成し、将来にわたって水道事業を維持、継続していくために必要な専門的な知識および技術の継承を図ります。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・局研修計画を継続して実施し、研修への参加を促進します。 ・職務に必要な資格取得を奨励します。							
期間	令和4年4月 ～ 令和5年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	1,384	1,384	0	989	989	0	71%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	1,384	1,384		989	989		71%
	人件費	539			539			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	717千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	52%		
進捗状況	・研修の参加を促進し、延べ17人(9月末時点)が14講座の外部研修に参加しました。 ・異動等により新たに上下水道事業に携わる職員に対し、上下水道事業職員研修を実施しました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・有料研修の実績については、延べ35人が21講座を受講し、水道事業体の職員としての見識を広げました。 ・職務に必要な資格については、3人が受講し、2人が資格(水道技術管理者1名、給水装置工事主任技術者1人)を取得しました。
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6	
指標名	【PI C201】水道技術に関する資格取得度	単位	件/人	目標値	1.51			
算出式・根拠	職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数			実績値	1.55			
指標名	【PI C202】外部研修時間	単位	時間/人	目標値	20.0			
算出式・根拠	(職員が外部研修を受けた時間×受講人数)/全職員数			実績値	19.9			
指標名	【PI C203】内部研修時間	単位	時間/人	目標値	10.0			
算出式・根拠	(職員が内部研修を受けた時間×受講人数)/全職員数			実績値	3.8			

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
外部・内部研修時間は目標値に届きませんでしたが、昨年度よりどちらも実績値を上げることができました。積極的に研修案内等の情報発信を行うことで職員へ受講を勧め、職員の育成および技術の継承を図っていきます。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、受講の取りやめとなった研修がありましたが、組織全体として必要な技能を維持することを意識しながら研修についての情報を収集し、職員に受講を勧めていきます。	現状維持で継続